

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 多機能型事業所 うさぎのもり | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 12 | (回答者数) 11 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 4 | (回答者数) 4 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 専門職(保育士等)による療育を行っている | 保育士による寄り添った保育、 経験値の高い職員による集中した支援、 それらを組み合わせた療育を提供 | 研修会などで知識を高めていき、 より充実した支援を提供していく |
| 2 | 児童に合わせて、個別療育、集団療育を行っている | 児童の状況から検討し、 保護者の意向を確認した上で実施 | 研修会などで知識を高めていき、 より充実した支援を提供していく |
| 3 | 生活する部屋、プレイルーム、園庭など 活動に応じた様々な空間があり、環境として整っている。 | 活動に応じて、各部屋を整備している。 5S活動にも取り組んでおり、児童が安心・安全に 専門的な支援が受けられる環境である。 | 施設内職員の様々な意見を取り入れながら、 利用する児童に応じて、対応していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------|---|
| 1 | 放課後等デイサービスと児童発達支援が 時間的に並行して行われているため さらなる職員の確保が望ましい | 支援の提供時間の設定 | 各サービスを利用している保護者様の負担軽減のために 現状の設定としているため、継続して職員募集を行う |
| 2 | 医療職が少ない為、社内にあるアセスメントツールが フル活用されていない | 医療職の確保が難しいため | ・認知度の向上を行い、医療職職員確保に繋げる ・保育士の職員数を増やし、医療職の業務負担を減らし、 アセスメントに注力できるようにする |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 多機能型事業所 うさぎのもり | | 公表日 | | | | R8年 3月 10日 | 回収数 | | 11 |
|--------------------------------------|--|---|---------------|-----|-------|------------------------------------|-------------------------------------|--|--|----|
| | | | 利用児童数 | | 12 | | | | | |
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 11 | | | | もう少し広いと更によいかなと思う。 | 当施設は、生活する部屋とプレイルームとが別々にあり、子ども一人当たりの面積は広い施設である。 | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 10 | | | 1 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 9 | 2 | | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 11 | | | | | | | |
| 適切 な 支 援 の 提 供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 8 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 10 | 1 | | | | | | |
| | 9 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 10 | 1 | | | | | | |
| | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。 | 4 | 3 | 2 | 2 | 分からない。 | | | |
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 11 | | | | | | | |
| | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 11 | | | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 10 | 1 | | | 私が送迎できないこともある為（家庭側が）十分に伝えていないことがある。 | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 11 | | | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 10 | 1 | | | | | | |
| 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 5 | 4 | | 2 | 勉強会などで機会を頂いています。きょうだい向けは把握しておりません。 | | | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|---|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 10 | 1 | | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 10 | 1 | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 10 | 1 | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 11 | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 9 | 1 | | 1 | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 9 | | | 2 | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 8 | 1 | | 2 | いつも配慮頂いていると思いますが、計画などは把握できておりません。 |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 11 | | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 11 | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 11 | | | | いつも活き活きと通所し、たくさんの成長を持ち帰ってくれています。 |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 11 | | | | 家庭ではできない体験をさせて頂いて、家でも活かされています。ありがとうございます。いつもありがとうございます。 |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 多機能型事業所 うさぎのもり | | 公表日 R8年 3月 10日 | | | |
|---------|----------------|--|----------------|---------|---|--------------------------------|
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 4 | | ・気が散ったり、視覚的に刺激されない様、カーテン等を使用しているのは良かった。 ・身体を使った活動などする時は、別室のプレイルームなど使ったりして工夫している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | | 配慮いただいております。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 4 | | トイレのドアが気になります。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 4 | | ・活動できる場所と身体を落ち着かせる場所の確保ができていて良い。 ・努力しています。 朝、昼食後など床拭きしています。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 4 | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | | 年に2回ほど、職員面談の機会を設けられているのは職員の事をよく考えられているなと思う。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | 1 | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 4 | | 各員会活動でも定期的に研修が行われている。 外部研修への参加もある。 | |
| 適切な支援の提 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 4 | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 4 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 4 | | 毎日、個々の振り返りを行い、活かされています。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 4 | | 努力しています。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 1 | | 家族支援、移行支援、地域支援など支援計画に記載していません。 |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 4 | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---------------|---------------|--|
| 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 4 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 4 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 4 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 4 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 4 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 4 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 4 | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | | 必要な場合、行っています。 | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) | | | | |
| | | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) | | | | |
| | | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 1 | 2 | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 4 | | 公園など。 | |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 4 | | | |
| 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | | | | |
| 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 4 | | 分かる範囲で行っています。 | | |
| 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 4 | | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|----------|---|
| 保護者への説明等 | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 4 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 4 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 4 | | | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 4 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 4 | | | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 4 | | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 4 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | 4 | | |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 4 | | | 研修などを行っています。 |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | | | 研修などを行っています。 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 4 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 2 | 2 | | ・現在、アレルギー児がいない為、対応は行っていない。 ・現在はいません。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 4 | | | 研修などを行っています。 |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 4 | | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 4 | | | |
| 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 4 | | | 現在はいません。 | |

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 多機能型事業所うさぎのもり | | |
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 17 | (回答者数) 17 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ R8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 3 | (回答者数) 3 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 10日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | 専門職(保育士等)による療育を行っている | 保育士による寄り添った保育、 経験値の高い職員による集中した支援、 それらを組み合わせた療育を提供 | 研修会などで知識を高めていき、 より充実した支援を提供していく |
| 2 | 児童に合わせて、個別療育、集団療育を行っている | 児童の状況から検討し、 保護者の意向を確認した上で実施 | 研修会などで知識を高めていき、 より充実した支援を提供していく |
| 3 | 生活する部屋、プレイルーム、園庭など 活動に応じた様々な空間があり、環境として整っている。 | 活動に応じて、各部屋を整備している。 5S活動にも取り組んでおり、児童が安心・安全に 専門的な支援が受けられる環境である。 | 施設内職員の様々な意見を取り入れながら、 利用する児童に応じて、対応していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|-------------------|---|
| 1 | 放課後等デイサービスと児童発達支援が 時間的に並行して行われているため さらなる職員の確保が望ましい | 支援の提供時間の設定 | 各サービスを利用している保護者様の負担軽減のために 現状の設定としているため、継続して職員募集を行う |
| 2 | 医療職が少ない為、社内にあるアセスメントツールが フル活用されていない | 医療職の確保が難しいため | ・認知度の向上を行い、医療職職員確保に繋げる ・保育士の職員数を増やし、医療職の業務負担を減らし、 アセスメントに注力できるようにする |
| 3 | | | |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 多機能型事業所うさぎのもり | | 公表日 | | R8年 3月 10日 | | 利用児童数 | 19 | 回収数 | 17 | |
|------------------|---------------|---|---------------|-----|------------|-----|---|----|-----|----|--|
| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 | | | | |
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 15 | | | 2 | ・活動内容やクラスによって部屋分けが がされていて良いと思う。 ・広いスペースがある。 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 15 | | | 2 | しっかり支援して頂いています。 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 15 | | | 2 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 17 | | | | いつもきれいに清掃されていると思う。 | | | | |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 17 | | | | 何かアクシデントがあっても「今後 こうやって対処していこうと思います」 とすぐに対応してもらえているので、 しっかり支援してもらえていると思う。 | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 17 | | | | デイ以外のトラブル等も、 支援計画にしっかり反映されている と思う。 | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 16 | | | 1 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 17 | | | | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 17 | | | | 色々な活動を計画して下さっています。 | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 9 | 2 | 1 | 5 | あまり聞いた覚えがないです。 | | | | |
| 保護者 への 説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 17 | | | | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 17 | | | | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 16 | | | 1 | 定期的に保護者向けの研修会が あっている。 | | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 17 | | | | 何かあった時は、すぐに連絡して くださっている。 | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 17 | | | | 定期的な面談がある。 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 17 | | | | 上手くいかなかったことやトラブルがあっても、 必ず本人の考えを考察してくださり、発生した 状況を伝えるだけでなく、どう関わったのかや、 どうしてこう思っているのかなど、その都度 | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 10 | 3 | | 3 | ・きょうだい向けのイベントや、 きょうだいへの支援はあまり なかったように思う。 ・保護者同士の交流の場も作って 下さっている。 ・勉強会は開催して下さっている。 | | | | |

| | | | | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|--|---|--|--------------------------------------|--|
| | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 15 | | | 1 | 対応に困ることなど相談すると、一緒に考えて下さったり、職員の皆さんや相談支援員さんと共有して下さっていて安心して相談できる。 | | |
| | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 15 | | | 1 | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 13 | 3 | | | | いつもカラフルで読みやすいプリントで活動内容などを知ることができている。 | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 16 | | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 14 | 1 | | 1 | | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 15 | | | 1 | 避難訓練をした報告もして下さるので、何を想定しての訓練かも分かるようにしていると思う。 | | |
| | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 15 | | | 1 | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 15 | | | 1 | | | |
| 満足度 | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。 | 16 | | | | | | |
| | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。 | 16 | | | | 先生方も本人なりにコミュニケーションを取れるようになり、いつも楽しく利用させてもらっています。長年お世話になり、ありがとうございました。利用できて本当に良かったと思 | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 16 | | | | | | |

公表 事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 多機能型事業所うさぎのもり | | 公表日 | | R8年 3月 10日 | |
|---------|----|--|----|-----|--|------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 3 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 3 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 3 | | 個別の部屋として使えるスペースを設けている。今は入らないようドアの所に×のマークもかけている。 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 3 | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 3 | | 1つは部屋（クラス）にあり、もう1つとして事務室と繋がっている所にスペースがある。カーテンを開めることで、視覚的にも配慮されている。 | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 3 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 3 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 3 | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 3 | | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 3 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 3 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 3 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 3 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 3 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 3 | | | | |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|--|--|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 3 | | | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 3 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 3 | | | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 3 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 3 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 3 | | | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。 | 3 | | | |
| 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 3 | | | 活動の中でも自分で決められるようにしていたり、考えて行動ができるような活動を取り入れている。 | |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 3 | | | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 3 | | | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 3 | | | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | | | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 3 | | | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | 3 | | | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 1 | 2 | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 3 | | | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 3 | | | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | | | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 3 | | | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 3 | | | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | 3 | | | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|---|--|----------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 3 | | | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 3 | | | きょうだい同士の交流はない。 |
| | 41 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 3 | | | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。 | 3 | | | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 3 | | | |
| | 44 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 3 | | | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | | | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 3 | | | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。 | 3 | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 3 | | | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 3 | | | |
| | 51 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 3 | | | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 3 | | | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 3 | | | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 3 | | | | |

公表

事業所における自己評価総括表

| ○事業所名 | 多機能型事業所うさぎのもり | | | |
|----------------|---------------|---|--------|------------|
| ○保護者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) | 1 |
| ○従業者評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) | 1 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | R8年 2月12日 | | ～ | R8年 2月 28日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 1 | (回答者数) | 1 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 10日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 訪問時に、じっくりと時間をかけて観察をした上で訪問先の先生との話し合いを行っている。 | 当施設利用時に工夫している点を伝えたり、児童の特性と現状の姿との照らし合わせを説明し、具体的に何をどうしたらいいかの案を伝えている。 また、必要になるシートなどを作成し、先生の負担軽減と取り組みやすさに努めている。 | 訪問員だけでなく、様々なことを当施設内で検討し、実績のある助言などの提案に努める。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|----------------------------------|---|
| 1 | 訪問できる職員数に限りがあるため、訪問できる児童に優先度をつけて対応する必要がある。 | 他業務との兼ね合いもあり、職員確保と、次世代の育成が難しいため。 | 施設自体の認知度の向上を行い、職員確保に繋げる。訪問支援に限らず、今ある体制でできる策を検討する。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

| | | | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|--|--|--|
| | 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 1 | | | | | |
| | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| 満足度 | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 1 | | | | | |
| | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。 | 1 | | | | | |
| | 28 | 事業所の支援に満足していますか。 | 1 | | | | | |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 R8年 3月 10日

多機能型事業所うさぎのもり

利用児童数 1 回収数 1

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|-----------------------------------|---|----|---------------|-----|-------------------|------------|
| 1 | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 1 | | | | |
| 2 | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。 | 1 | | | | |
| 3 | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。 | 1 | | | | |
| 4 | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 1 | | | | |
| 5 | 事業所からの支援に満足していますか。 | 1 | | | | |
| その他のご意見 | | | | | ご意見を踏まえた対応 | |
| 児童の特性に応じた声掛けや支援をしていただけるので助かっています。 | | | | | 今後も協力していきたいと思います。 | |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 多機能型事業所うさぎのもり | | 公表日 | | R8年 3月 10日 | |
|--------------------------------------|--|---|----|-----|---|------------|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など | 課題や改善すべき点 | |
| 環 境 制 運 営 | 1 | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。 | 1 | | | | |
| | 2 | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 1 | | | | |
| 業 務 改 善 | 3 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 1 | | | | |
| | 4 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 1 | | | | |
| | 5 | 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 1 | | | | |
| | 6 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 1 | 訪問先からの評価はもらっているが、 全くの外部からの評価は受けていない。 | 検討する。 | |
| | 7 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 1 | | | | |
| 適 切 な 支 援 の 提 供 | 8 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。 | 1 | | | | |
| | 9 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 1 | | | | |
| | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。 | 1 | | 保護者の主訴、学校の先生の主訴を 共に聞き取った上で、計画を立てた。 | | |
| | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 1 | | | | |
| | 12 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 1 | | | | |
| | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。 | 1 | | | | |
| | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 1 | | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 1 | | | | |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 1 | | | | |
| | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。 | 1 | | | | |
| 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。 | 1 | | | | | |

| | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|---|
| | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 1 | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 1 | | |
| | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 1 | | |
| | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 1 | | |
| | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 1 | | |
| | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 1 | | |
| | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。 | 1 | | |
| | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 1 | | |
| 保護者等への説明等 | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 1 | | |
| | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。 | 1 | | 基本的に保護者からの要望で実施している。 |
| | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 1 | | |
| | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。 | 1 | | |
| | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。 | 1 | | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 1 | | |
| | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 1 | | |
| | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 1 | | |
| | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 1 | | |
| | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 1 | | |
| 訪問先施設への | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。 | 1 | | 言葉だけの説明ではなく、視覚的に情報を整理した書類を基に説明し、分かりやすい説明に務めている。 |
| | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。 | 1 | | |
| | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。 | 1 | | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|--|--|--|
| 説明等 | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 1 | | | |
| | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。 | 1 | | | |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 1 | | | |
| | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 1 | | | |
| | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 1 | | | |
| | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 1 | | | |
| | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 1 | | | |